

令和6年 4月 1日

御中

三徳アスリート株式会社



再生用添加剤試験成績表

品 名 R J - 1

4 月 代 表 性 状

試験結果 (試験報告日 令和 6 年 3 月 26 日)

項 目	標準的性状	試 験 値	備 考
動 粘 度 (60℃) (ml/s)	80~1,000	82.1	
引 火 点 ℃	250 以上	268	
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	2 以下	1.07	
薄膜加熱質量変化率 %	±3 以内	-0.68	

報 告 事 項

項 目	標準的性状	試 験 値	備 考
組 成 分 析 (%)	アスファルテン	報告	0.1
	飽 和 分	〃	30.9
	芳 香 族 分	〃	67.6
	レ ジ ン	〃	1.4
	回 収 率	〃	100.0
密 度 (15℃) g/cm ³	〃	0.925	

骨材試験結果一覧表

測定年月日 令和6年4月15日

用途 アスファルト混合物用 試験者 田子 三由生

試験項目	砕石5号	砕石6号	砕石7号	砕砂	細砂		石粉
粒度試験結果 pass (%)	26.5(mm)	100.0					
	19.0	95.2	100.0				
	13.2	5.5	96.5	100.0		100.0	
	4.75	0.5	6.7	97.2	100.0	99.3	
	2.36		1.2	11.1	93.5	98.6	
	600(μm)			1.1	32.8	84.5	
	300				17.2	42.9	100.0
	150				10.1	6.1	98.0
	75				6.0	1.7	88.2
密度 (g/cm ³)	表乾	2.687	2.674	2.654	2.661	2.503	
	かさ	2.668	2.649	2.615	2.627	2.453	
	見掛	2.720	2.718	2.721	2.723	2.582	2.74
吸水率 (%)	0.72	0.95	1.48	1.30	2.04		
すり減り量 (%)		12.3					
単位容積質量 (g/cm ³)	1.581	1.558	1.497	1.689	1.611		
粘土塊質量 (%)	0.01	0.02					
細長扁平骨材含有量 (%)	1.6	2.4					
安定性試験損失量 (%)	1.1	1.4	1.5	2.7	2.3		
骨材軟石質量 (%)	0.4	0.5					
石粉の水分 (%)							0.02
産地	岡山県久米郡久米南町				鳥取県北栄町		新見市足立

備考

様式-2	粗骨材の密度および吸水率試験報告書	JIS A 1110
------	-------------------	------------

測定年月日 令和6年 4月15日

用 途 アスファルト混合物用 試 験 者 田子 三由生

試 料 番 号	碎石5号		碎石6号		碎石7号	
	1	2	1	2	1	2
表乾試料+容器質量 (g)	—	—	—	—	—	—
容 器 質 量 (g)	—	—	—	—	—	—
表 乾 試 料 質 量 (g)	3586.4	3651.1	2410.0	2626.5	1742.9	1841.7
(籠+試料)水中質量 (g)	—	—	—	—	—	—
籠 の 水 中 質 量 (g)	—	—	—	—	—	—
試 料 の 水 中 質 量 (g)	2253.4	2291.9	1509.9	1644.2	1086.2	1148.4
表 乾 密 度 (g/cm ³)	2.689	2.685	2.676	2.672	2.653	2.655
平 均 値	2.687		2.674		2.654	
乾燥後の試料質量 (g)	3561.6	3624.8	2387.6	2601.5	1717.8	1814.5
か さ 密 度 (g/cm ³)	2.671	2.666	2.651	2.647	2.614	2.616
平 均 値	2.669		2.649		2.615	
見 掛 密 度 (g/cm ³)	2.721	2.718	2.719	2.716	2.718	2.723
平 均 値	2.720		2.718		2.721	
吸 水 率 (%)	0.70	0.73	0.94	0.96	1.46	1.50
平 均 値	0.72		0.95		1.48	

備 考

試 験 時 の 水 温 12 °C

水 の 密 度 0.9995 g/cm³

様式-4	粗骨材のすり減り試験報告書					JIS A 1121	
測定年月日						令和6年 4月15日	
用途	アスファルト混合物用			試験者	田子 三由生		
1. 試験前の骨材粒度							
ふるい目(mm)	1.7	2.36	4.75	9.5	13.2	19	26.5
粒度pass(%)			0.0		100.0		
2. すり減り試験結果							
試料 番号	試験前試料 質量(g)	試験後1.7mmふるいに 残った試料質量(g)	すり減り 損失質量(g)	すり減り 減量(%)	試験機 回転数(回)		
1	4996	4362	634	12.7	500		
2	5002	4407	595	11.9	500		
平均				12.3			
備 考							
すり減り損失質量=試験前の試料質量-試験後1.7mmふるいに残った試料質量							
すり減り減量(%)=すり減り損失質量÷試験前の試料質量×100							

様式-6	骨材中に含まれる粘土塊質量の試験報告書			JIS A 1137
測定年月日 令和6年 4月15日				
用途		アスファルト混合物用		試験者 田子 三由生
試料名	番号	試験前の乾燥質量 (g)	試験後の乾燥質量 (g)	粘土塊質量 (%)
		①	②	$(①-②)/① \times 100$
砕石5号	1	3054.4	3054.0	0.01
	2	3165.0	3164.7	0.01
	平均			0.01
砕石6号	1	1014.7	1014.6	0.01
	2	1014.0	1013.8	0.02
	平均			0.02
	1			
	2			
	平均			
	1			
	2			
	平均			
	1			
	2			
	平均			
備考				

	測定年月日 令和6年4月15日
	用途 アスファルト混合物用
溶剤の種類 硫酸ナトリウム溶液	繰返し回数 5回
溶剤の比重 1.164	試験者 田子 三由生

試料名	篩の寸法で区分した群の粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤
	通る篩	留まる篩	各群の質量百分率 (%)	試験前の各群の試料質量 (g)	試験後の各群の試料質量 (g)	各群の試料の損失質量百分率 (%)	各群別骨材の損失質量百分率 (%)
碎石5号	26.5	19.0	4.8	—	—	1.1	0.1
	19.0	13.2	89.7	814.8	805.9	1.1	1.0
	13.2	4.75	5.0	519.7	516.7	0.6	0.0
	4.75	2.36					
	合計					骨材の損失質量百分率 (%)	1.1
碎石6号	19.0	13.2	3.5	—	—	1.4	0.0
	13.2	4.75	89.8	536.0	528.5	1.4	1.3
	4.75	2.36	5.5	219.7	215.7	1.8	0.1
	2.36	0.6					
	合計					骨材の損失質量百分率 (%)	1.4
碎石7号	13.2	4.75	2.8	—	—	1.5	0.0
	4.75	2.36	86.1	206.4	203.3	1.5	1.3
	2.36	0.6	10.0	101.4	99.2	2.2	0.2
	0.6	0.3					
	合計					骨材の損失質量百分率 (%)	1.5

備考 19.0mmより大きい粒径の骨材数 個
 試験後異常が認められた骨材数 個
 破壊状況
 全重量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

様式-9	骨材の軟石量試験報告書	JIS A 1126
------	-------------	------------

測定年月日	令和6年 4月15日
用 途	アスファルト混合物用
試 験 者	田子 三由生

試料名	篩の寸法で区分した群の粒径の範囲 (mm)		① 各群の質量百分率 (%)	② 各群の試料質量および個数 (g) (個)	③ 各群の軟石粒の質量および個数 (g) (個)	④ 各群の軟石質量および個数百分率 (%)	⑤ 軟石質量百分率 (%)
	通る篩	留まる篩				$③/② \times 100$	$① \times ④ / 100$
碎石5号	26.5	19.0	4.8	—	—	0.4	0.0
	19.0	13.2	89.7	1057.9	3.9	0.4	0.4
	13.2	4.75	5.0	—	—	0.4	0.0
	4.75	2.36					
	合 計					骨材の軟石質量百分率 (%)	
碎石6号	19.0	13.2	3.5	—	—	0.6	0.0
	13.2	4.75	89.8	213.0	1.2	0.6	0.5
	4.75	2.36	5.5	—	—	0.6	0.0
	2.36	0.6					
	合 計					骨材の軟石質量百分率 (%)	
合 計					骨材の軟石質量百分率 (%)		

備 考

全重量の10%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

様式-5

再生骨材試験結果一覧表			
		測定年月日 令和6年4月15日	
製造所 倉吉アスコン株式会社			
種別 再生骨材(13~0mm)		試験者 田子三由生	
試験項目	平均値	再生骨材規格	
粒度試験結果 pass (%)	19.0(mm)	100.0	
	13.2	99.3	
	4.75	66.1	
	2.36	42.8	
	600(μm)	33.7	
	300	23.0	
	150	11.9	
	75	9.0	
旧アスファルト含有量 (%)	4.87	3.8 以上	
圧裂係数 (Mpa/mm)	1.10	1.70以下	
洗い損失量 (%)	1.2	5 以下	
最大密度 (g/cm ³)	2.511	—	
※2骨材密度 (g/cm ³)	2.707	—	
備考			
※1 マーシャル安定度試験方法による推定針入度 再生骨材 13-0 の内 4.75mmふるい通過分を用いた。			
※2 骨材密度は計算より求めた。			

Lot. No.

Date. 2024年 4月 1日

試験成績表

倉吉アスコン株式会社 御中

日進化



品名：ニッシールGS

ポリマー改質アスファルト I 型

品質保証室	工場長	担当

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針標準の性状
軟化点	°C	56.0	50.0以上
伸度(7°C)	cm	55	30以上
タフネス(25°C)	N・m	14.5	5.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	8.2	2.5以上
針入度(25°C)	1/10mm	58	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.07	0.60以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	74.1	65.0以上
引火点	°C	372	260以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.036	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C) 混合温度範囲 : 165~185 締固め温度範囲 : 155~165		

Lot. No.

Date. 2024年 4月 1日

試験成績表

倉吉アスコン株式会社 御中

日進化工業株式会社



品名：エポックファルトD
ポリマー改質アスファルトII型

品質保証室	工場長	担当
		

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針標準的性状
軟化点	°C	67.0	56.0以上
伸度(15°C)	cm	100+	30以上
タフネス(25°C)	N・m	22.9	8.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	16.6	4.0以上
針入度(25°C)	1/10mm	50	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.05	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	74.0	65以上
引火点	°C	366	260以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.035	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C)		
	混合温度範囲 : 170~185		
	締固め温度範囲 : 160~170		

Lot. No.

Date. 2024年 4月 1日

試験成績表

倉吉アスコン株式会社 御中

日進化成株式会社



品名：再生改質アスファルト
(旧アス・CBバインダーK混合)

品質保証室	工場長	担当

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針 標準的性状
軟化点	°C	60.0	50.0以上
伸度(15°C)	cm	47	30以上
タフネス(25°C)	N・m	18.4	5.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	11.4	2.5以上
針入度(25°C)	1/10mm	45	40以上
薄膜加熱後の針入度残留率	%	75.6	65.0以上
引火点	°C	320	260以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.025	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C) 混合温度範囲 : 170~185 締固め温度範囲: 160~170 * 舗装設計施工指針の「ポリマー改質アスファルト I 型」に適合する。		

Lot. No.

Date. 2024年 4月 1日

試験成績表

倉吉アスコン株式会社 御中

日進化成株式会社



品名：再生改質アスファルト
(旧アス・CBバインダーK混合)

品質保証室	工場長	担当
		

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針 標準的性状
軟化点	°C	60.0	56.0以上
伸度(15°C)	cm	47	30以上
タフネス(25°C)	N・m	18.4	8.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	11.4	4.0以上
針入度(25°C)	1/10mm	45	40以上
薄膜加熱後の針入度残留率	%	75.6	65.0以上
引火点	°C	320	260以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.025	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C)		
	混合温度範囲 : 170~185 締固め温度範囲 : 160~170 * 舗装設計施工指針の「ポリマー改質アスファルトⅡ型」に適合する。		

